

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2014 March

03

Vol.572

03 【特集】2014年新春講演会・新年祝賀会に参加して

07 歴代支部長がリレートーク 南支部が40周年記念例会

08 21世紀型 自立型企业づくり

オンデマンドに活路を見出す

～最新設備導入と人材育成～

有限会社 田中凸版

11 新書籍と「障がい者応援BOOK」のご案内

12 3月行事案内

14 自社商品紹介

15 第9回 理事会報告

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.08掲載)



有限会社 田中凸版

代表取締役

田中 潤一郎 氏
(かすや支部)

田中氏は、かすや支部設立時から役員として支部を支えてこられ、昨年支部長に就任されました。還暦前とは思えないフットワークの軽さが、田中氏の魅力です。40歳以下が半数以上を占めるかすや支部の中で、前所属の福友支部からの経験をアドバイスしていただいています。また、福友支部では、登山部の部長を務めていたこともあってか、「休みの日にちょっと時間ができて、気が向いた時は近くの山に登っている」と行動力、体力は若い会員顔負けです。

そして、自宅のある粕屋町では、町内会や地元のフェイスブック交流会などに積極的に参加されています。そのフットワークの軽さは、事業でもいかに発揮されています。詳細は本誌記事をご覧ください。

記事：中山 裕雄氏（かすや支部）

今月の表紙

撮影：佐藤 愛（事務局）



三宅牧場まきは福岡県筑紫野市の専業農家で、「お米」をテーマにしたお餅、菓子などの加工品を販売しています。毎日つくたてのお餅が販売所には並んでいます。今は3月3日のひな祭りにむけて「ひし餅」が作られています。こうした加工品は、「まきは」を運営する子育て真っ盛りのお母さんたちが、子供に食べさせ・伝えたい「食」を商品にしています。この日

本の伝統の食を、自然の循環を通じて安心安全にお届けしています。

平成25年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰

(<http://www.miyakefarm-makiba.com/>)



「私の逸品」

筑紫平野で育ったもち米100%のお餅

みやけしずえ
合同会社 三宅牧場まきは 代表 三宅 静恵氏（筑紫支部）

Information

月刊同友 情報提供のおねがい！

みなさんの地区・支部・ブロック・会員さんの活動を月刊同友に投稿してみませんか。活動・新商品・新サービス・産官学金連携などの投稿をお待ちしております。

原稿書くのは、ちょっと・・・という方でも、情報をお知らせください。
編集部で検討して取材に駆けつけます！
情報を分かち合うことで、同友会は活性化されます！
とっておきの情報をお寄せください。

■ お問合せ先：福岡同友会事務局 佐藤（a_satou@fukuoka.doyu.jp）

福岡同友会広報誌「月刊同友」は、会員さんの活動を会の内外に伝えています！

広報情報化推進本部広報部



福岡地区 新春講演会

スピードは最大の付加価値
地域を活性化に導いた武雄市の挑戦佐賀県武雄市 市長 ひわたし けいすけ 樋渡 啓祐 氏市長、なぜ、ツタヤだったのですか？
経営のヒントいっぱい90分

にすぐ応用できそうなヒントを示します。

まず「爆」とは、爆発的に知名度を上げなければならないということ。ある調査で、武雄市の認知度が低いことに危機感を抱いた市長。これは「無関心」の現れであるとして、まずは知名度を上げることです。市民の市政への関心呼び覚まし、たいと「TTP」という方針を打ち出します。

TTPとは「徹底的にパクリ」を、最近何かと議論を呼んでいる「TTP」に引っかけ、市長がひねりだした造語。なにをパクリかといえば、あのアップル社のステイプ・ジョブス氏や大阪市長の橋本徹氏、ヤフー社社長の宮坂学氏のビジネスや行政への取り組みを真似することなのだとか。また、社会に大きな影響力を持つ会社や個人と組み、「コバンザメ的」に利用する方法も有効だといいます。なるほど。

ただし、パクったり、力を利用しようと思ったら、「速」、すなわちスピードが肝心。1000の議論より1の実行が大事と市長は力説し、実行に際しては誰にでもわかる「形」にしろ、とにかく実行に向けて「走れ」、修正は走りながらしろ、決裁は担当者にまかせて「ほうれんそう」報告・連絡・相談は禁止などをポイントとして挙げます。こうすると現場がいきいきしてくるのだそうです。確かにそう。

面白かったのは「感」。自分が感じるものが大切として、例えば図書館は「自分が居心地がいいと思える空間にする」を最優先させ、マーケティングや人からのアドバイスなどは無視したといいます。その最たるものがスターバックスの図書館への導入でしょう。同社は徹底的なマーケティングをベースに店舗を決めており、全国各店の売り上げもランク付けするなど厳しく管理。人口5万人の武雄市への出店は同社から無理といわれたそうです。

ところが、ツタヤを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)

経営を改善したい。でも、「どこから手をつけたらいいかわからない」「うちは会社が小さいからできない」。多くの経営者が、ついもらす愚痴にも似た悩み。ところが、そんなことは言い訳にすらならないことを明快に教えてくれたのが佐賀県武雄市の樋渡啓祐市長です。

1月21日、福岡市の少年科学文化会館ホールで行われた「2014年福岡地区新春講演会」。そこで樋渡市長は「爆」「速」「感」「謝」の4つをキーワードに、会社・事業所経営



講演は躍動感にあふれ、会場中を魅了



ステージを降り、客席で質問を受ける姿も

に図書館運営をまかせて話題を集めていたこともあり、なんとか誘致に成功。居心地がよいと思える図書館の空間づくりとの相乗効果により、佐賀の一地域とは思えない来店者数を記録しているそうです。

そして「謝」。間違っていると判断したら、すぐ謝罪し修正する。しかし、反省はしない。無駄だからというのがその理由です。これはいいことを聞いたかも(笑)。

いことを聞いたかも(笑)。というわけで、以上が樋渡市長の講演主旨。でも、振り返るとさらにすごいと思えてきたのは、「ヒワタシ語録」が作れるほど、心に響く言葉がマシガンのように会場に向かって浴びせられたことでしょうか。いわく「批判があることは関心がある証拠。逆風ではなく順風にとらえる」「強い相手と組み、随意契約。

なぜなら結婚相手を選ぶのと同じだから(結婚相手は二股・三股)相見積もりにかけて選ぶことはしない」「異論があつても押し切る。これが意思決定の速さの秘密」「名刺を渡す5秒前で相手の印象が決まる」「業者という言葉は大嫌い。パートナーだ」「外部に発注しても主導権は絶対渡さない」「職員(人)はほめて伸ばす」「通販で売れなかった米、

動画を出したら2週間で完売。物語をつくるとモノは売れる」「革命は辺境(フロンティア)からしか起きない」「小さな所から変えていく。その積み重ね」「きのうの自分ときょうの自分を比較する。それが少しずつ自分を変えていくコツ」などなど。特に体感価値と実勢価値のギャップの話には思わず納得したという人が多かったようです。どういふことかといえば、スターバックスをツタヤ運営の図書館に併設したこと

で付加価値がアップ。図書館の満足度が高いため、スターバックスのコーヒーも高くないと感じ、どんどん売れるという訳です。うーむ、そういうことなんですね。

武雄市は会社でいえば中小企業のようなもの。そこがこんなに斬新な施策を次々に打ち出し、成功させている。逆にいえば、小さな市や町、中小企業だからこそ、トップにその気さえあればスピードをもっていい方向に変えられるということでしょう。

でもね、ひょっとしてこれらは樋渡さんだからできた、なんて思いたがる気持ちもちらっとありませんか? だとしたら、経営を改善したいなんて、本心から思っていない、ということかもしれません。

記事…間々田 正行(広報部/福博支部)



筑豊地区 新年祝賀会

ゼロからつくる強い組織と未来 ～仲間と共に再建する、復興へのビジョンに学ぶ～

株式会社 八木澤商店 代表取締役 ^{こうの みちひろ} 河野 通洋 氏
(岩手県中小企業家同友会 気仙支部幹事長)

にぎった手は絶対に離さない
地域をよくするのは中小企業

地元を愛される

会社をめざして

この度の東日本大震災におきましては、同友会のみなさまの多大なる救援物資・ご支援を賜り誠にありがとうございます。

岩手同友会は88社のうち、1社が経営者・社員が全滅してしまい廃業いたしました。残る87社は事業を再開しております。

私も八木澤商店は創業1807年、酒・みそ・しょう油を生業としており、私で9代目となります。地域でとれた農産物を加工して地域の方に提供して喜んでいただくということを使命にしております。また雇用も確保しなければならいと考えております。38名の社員が働いております。

ウチでは米を作っています。社内の自給率は高いです。「喰いっ逸れがない会社」をめざしていますから。どんな経営環境にも負けないようにしています。

東北は年に1回しか米が取れませんから、時給換算すると150円です。TPPがどうのこの言う前に破たんに近い状態なんです。毎年新入社員を採用していますが、

まず農業に携わってもらっています。地域の子もたちと一緒に作っています。農薬を使わずに雑草を取っていく。「雑草の」命を奪って、(お米の)命をいただく。だから(人の)命は尊いんだよ」と子どもたちに語っていました。

働くことの意義を考えていく、そんな社員教育の社風が根付いてきました。

握った手は離さない

強い者だけが生き残るより、みんなが安全に暮らせるほうがよっぽどいいのです。それができるのは日本の中小企業です。2000年以上存続している企業が3000社あります。これは世界一です。持続可能な経営をめざしていて、地域に支持される企業を作っています。同友会はまさにこの理念に基づいて活動しています。

震災前から、同友会気仙支部では、地域がよくならないといけなと考えています。地域が悪いのは政治のせいでも、役人のせいでもない、自分たち地域の中小企業のせいなのです。自分たちが変わっていかねばならない。まず雇



祝賀会に駆けつけた宮若市、直方市、嘉麻市、飯塚市の各市長

用を生み出さないといけないと考えていました。「一社もつぶさない。握った手は絶対離すな」。強いだけではダメ。地域みんなが安全に生きられるようにしなければならいのです。

経営指針書や決算書をオープンにする。取引先の関係上、赤字と云えないから決算書を粉飾している会社がありました。繰り返しているうちにどこまでが実態だったか、本人も分からなくなっていました。普通、他の団体だったら「あそこは危ない」と言って引いてしまいませんか。私たちは会員訪問して、課題を探ります。決算書を見せてもらいます。会社を終えて社員が帰っ



熱心に聴き入る参加者

たら、会員で手分けして棚卸をし、実態がどうなっているのかを調べます。そして経営指針書を作りなおします。一緒に金融機関に行つて「再建に取り組むからぜひ話を聞いてやってくれ」と頼みに行きます。

坂本光司先生の「日本でいちばん大切にしたい会社」という本を

ご存じでしょう。私たちは手分けしてその会社でどんな取り組みをしているのか社長に聞いて回り、持ち帰って活動に生かしました。

3・11の後 再建宣言

東日本大震災の後、八木澤商店は必ず再建すると宣言しました。

一、生きる

一、暮らしを守る

一、人間らしく生きる

同友会の学びに倣って、こう宣言しました。

4月1日には社員を迎え入れるので、再建計画を作成しなければなりません。代表理事の田村満さんの会社(高田ドライビングスクール)の一室をお借りして再建計画を作成しました。

そのうちに田村さんが社員を全員呼びもどしてくれと言ってきました。陸前高田市役所が壊滅的ダメージを受け、支援物資が全国の同友会から届いているが、配る方法がないというのです。ドライビングスクールの車で社員が手分けして救済物資を配り始めました。

そのような中で地元金融機関の支店長に出会いました。

「地元企業を一社も絶対つぶさない」。お互いにできることを確認し合いました。

頭の中に貸借対照表がめぐりま

した。何ヶ月返済を待ってもらえば持ちこたえられるか。はじき出した答えは「8ヶ月」。

金融機関の了承を得て、A4の紙に金融機関のフリーダイヤルを記して救済物資を届ける際に「この中に経営者はいませんか」と叫びこのコピーを配りました。

また盛岡で開催した雇用調整助成金の説明会にはエリア内の8割を超える経営者が集まりました。同友会にはこのようなネットワークがあるのです。

田村さんは「お前がいらないとダメなんだ」とあきらめそうになる会員を涙ながらに勇気づけるのでした。金融機関の担当者も平日は業務で忙しいのでしよう、休みの日に顧客の作り方や数字の裏付け・商品開発などの事業再建計画の作成に必死になってくれました。

一方ハローワークでは、雇用を切ってもらい失業保険の方が手続きが簡単だと言っていました。雇用を切ってしまったら、再建のときに人手がなくなります。助成金申請には経営計画が必要なのですが、同友会員は経営指針書を作成し金融機関に提出しています。金融機関の本店にはその書類が保存されています。これも同友会ならではのことが言えます。ハローワークは八木澤商店がその申請手続き

をしてくれるなら認めましょうと言ってくれました。社員たちと手分けしての必死の作業が始まりました。

ハローワークも英断だと思いましたが、そのほかにも、緊急時で腹をくくってくれた金融機関責任者・お役人の方など多く方に支えられました。救済物資の保管用に国連WFPによる大きなテナント、それを復興のために気仙朝市に利用したこと。「代金は必ず返すから」という約束で商材を卸してくれた業者さん。救済物資は大変ありがたく使わせてもらうとともに、「自分のお金を出して、自分の意思で買う」ことの喜びを感じたお客様たち。多くの支えがありました。

八木澤商店でも、5月に入り販売を再開しました。売り上げが前年同月対比15%でした。新しい顧客創造のためにファンドを立ち上げ、資金・寄付を募るとともにお客様にもなっていただきました。

現在「なつかしい未来創造」という会社を立ち上げ、起業者を育てる取り組みをしています。10年後までに50人を輩出し、それぞれが10名雇用すれば、陸前高田に500人の雇用が生まれます。

中小企業は必要なのです。同友会はその責任を担っているのです。

記事…菅原 弘(広報部/東支部)

歴代支部長がリレートーク 南支部が40周年記念例会

〈報告者〉

MORO企画

代表 諸岡 昭三郎 氏
(ひびき支部／元代表理事)

激動を切り拓く商人魂
半世紀におよぶ中小企業家の道しるべ



南支部では、40周年という節目を記念して12月に記念例会を開催しました。報告は、諸岡昭三郎氏にお願いしました。誰よりもこの福岡同友会に思いがあるお一人であること、代表理事まで経験しリーダーとして数々の活動を行ったこ

と、戦後の激動の時代を生き抜いてきた体験談などを、会歴も浅い会員さんにも触れてもらいたいという思いからです。50分という短い時間ではありましたが、諸岡さんの人柄に触れ同友会の大きな辞書の1ページに感銘を受けた報告になったと思います。

次に、歴代支部長によるリレートークを行いました。当時、支部長になった経緯や会員増強のこと、思い出話を語っていただきました。南支部の歴代支部長は、ほぼ2年間隔でタスキを繋いでおります。当時役員を行った会員さんも含め、懐かしい時間を過ごせたのではないかと思います。何より私もこの先輩方と同じステージに立たせていただいたことに感謝しています。これからの支部の課題として、まだ成していないことは、女性の支部長が誕生していないことでしょうか。現清家支部長も、組織の活性化には女性の参画が不可欠ということで、徐々に女性会員を増やしているところです。現在は約10%

程度なのでもっと増えるように役員も頑張っています。

祝賀会では、最近発足した女子会に運営をお願いしました。テーマは『楽しく華麗に！』今までの南支部と一味違う心遣いを感じました。新内弘子さんによる乾杯の発声、サンバチームによる楽しいダンス、普段腰が重い会員さんもいつの間にかみんなが輪になって大はしゃぎでスタートしました。綾戸一由さんにシャ

ンソンを2曲披露していただき、その美声に驚きと共に元気をいただきました。後藤フサエさんとダンスプロの横瀬さんによる社交ダンスは本当に素敵でした。最後に横瀬さんの指導の下、基本的なステップを全員で行いました。楽しい祝賀会でした。リーダーの徳永さん、司会の本松さんを含め女子会の皆さんに感謝申し上げます。ドレス姿も華麗でした。

最後に、今回の40周年行事は、支部内に特化したような行事になりましたが、支部の歴史にも触れこれからの組織運営にプラスになる記念例会になっ



総勢55名が参加し盛会となりました

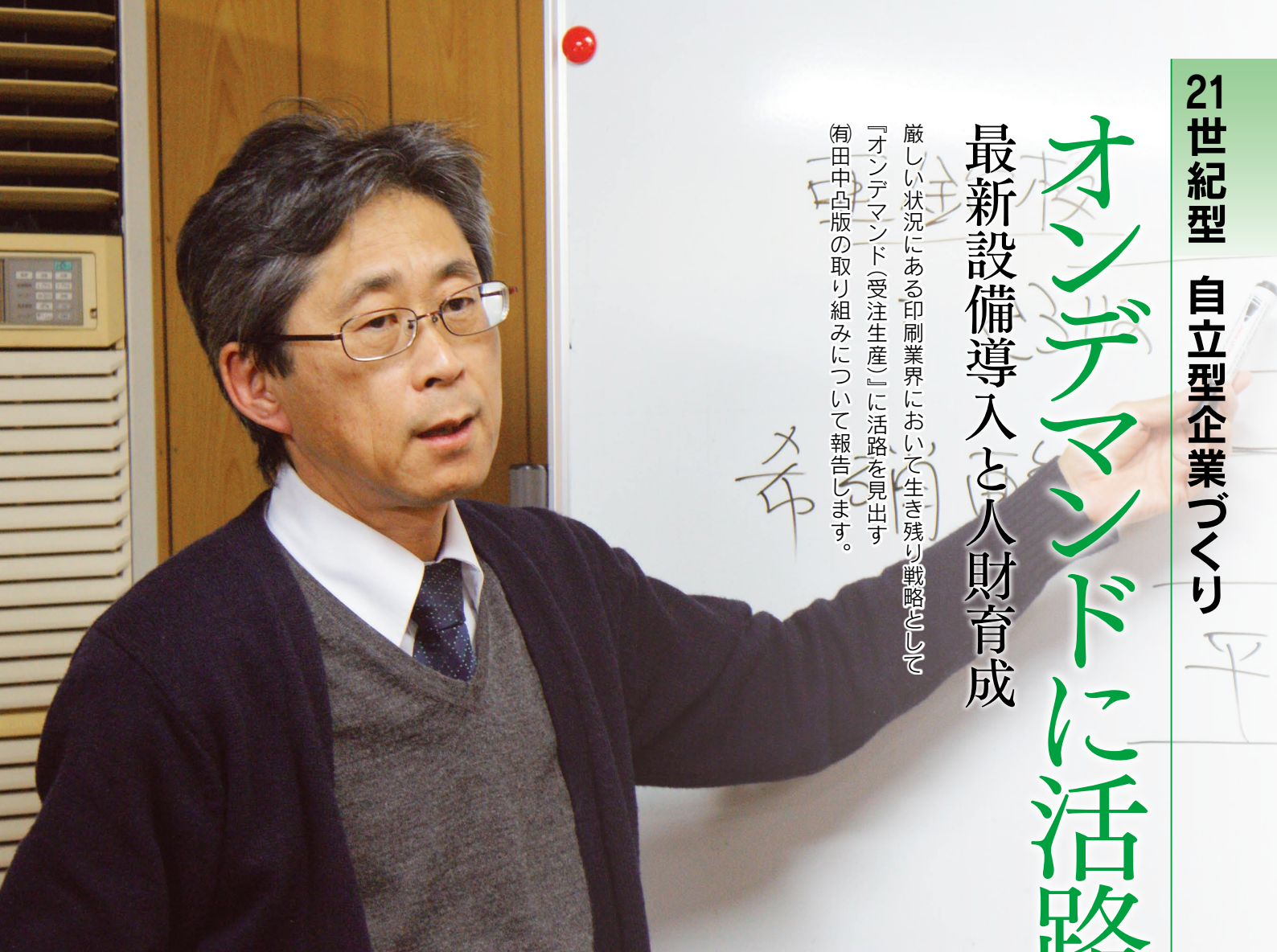
たと思います。快く役を引き受けていただいた方、参加いただいたOBの皆様、お声掛けいただいた皆様に感謝申し上げます。今期の支部スローガン『自ら変わる、南支部から変わる』組織の活性化、会員増強50周年に向けて共に成長していきたいと思っています。

貼りアップ株式会社 濱田 浩光(南支部)

オンデマンドに活路を見出す

最新設備導入と人財育成

厳しい状況にある印刷業界において生き残り戦略として『オンデマンド(受注生産)』に活路を見出す
(有)田中凸版の取り組みについて報告します。



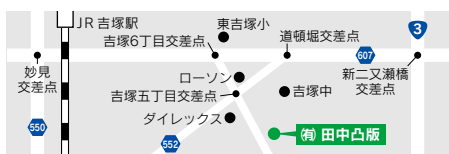
有限会社 田中凸版

代表取締役

た な か じゅん い ち ろ う
田中 潤一郎 氏

かすや支部

創業 1956年10月
住所 福岡市博多区吉塚4-6-50
電話 092-622-0641
社員 12名
<http://www.tanakatoppan.co.jp>



会社沿革

「昭和31年に父・満穂が佐世保から福岡に進出して創業しました」と切り出したのは、(有)田中凸版の社長・田中潤一郎さんです。

当時は活版印刷(活字を組み合わせて作った版を使用した印刷)が主流で、活字以外(写真など)は凸版印刷(表面に凸凹のある版の山部分にインクを乗せる印刷)で行っていました。田中凸版は文字通り凸版(垂鉛凸版)で製版し印刷会社に納品をしていました。フィルムを起こして製作するので高度な技術が要求されます。

昭和40年代に入り、オフセット印刷(版面からゴムブランケットと呼ばれるゴム布に一旦転写しそれを紙面に印刷する方法。インクと

取材 広報部会
文章 菅原 弘(東支部)
写真 佐藤 愛(事務局)



水を多く利用する)に主流の座を奪われていきました。製版の仕事は減少し、凸版をやめていく企業が續出していきました。

田中凸版も仕事が減少していましたが凸版をやめないことを選択。そんな中、何とシールを扱う業者から仕事のオファーが来るようになりました。シール印刷で凸

版の技術が必要だったのです。さらに昭和50年代に入り、山陽新幹線開通で博多に各企業の支店ができ、それに伴い辛子明太子などの博多みやげの人氣が出て、シールの需要が一気に伸びてきました。凸版製版で生き残ることができました。

2代目社長就任と 厳しい現状

田中潤一郎さんは学校を卒業して大阪の印刷会社に就職しました。昭和59年、父親に乞われて田中凸版に後継者として入社しました。平成4年社長に就任します。「社長になっていい思い出がないですね。唯一の特需は平成7年の食品衛生法により消費期限・賞味期限の表示が義務付けられたときくらいですかね」と苦笑しています。

同社では凸版を作るためにエッチングマシーンを使用しています。一方、高い技術が求められます。一方で比較的安価で容易にできる樹脂版が普及し始め、印刷会社の内製化が進んでいきました。さらにコンピュータやデジタルの波が押し寄せてきました。「亜鉛凸版は九州では数社となってきました」と田中さんは言います。ロストテクノロジーとまで言われ始め、難し

い技術伝承と後継者のなさが追い打ちを掛けます。

生き残り戦略 社長の決断

このような厳しい状況の下、田中さんは生き残りの戦略を模索していました。自社の強みであるシール・ラベルの分野で特化していくことで、たどり着いたのは『デジタルへの移行』でした。「版を作る会社が版を作る必要のないデジタル設備で仕事をする、自社の仕事の範囲を狭めることになります。また既存のお客様との競合もあります。す」。相反する命題の中で田中さんが着目したのは、シール製作は一般に大量ロットには対応するものの、小ロットには対応していない点でした。単価が割高になるためです。そこで営業を掛けて小ロットの需要があるか市場調査をしてみました。「仕事はある」と需要に手応えを感じました。概して短納期が要求されます。田中さんは高速対応機を探しました。3年前にやっとデジタルシール印刷機を見つけた購入しました。いわばプロ用の大型インクジェットプリンターです。九州で最初の1台です。これで本格的にシールの小ロット受注生産に取り組みました。

キャッチコピーは「1枚から承ります」。1年目はお客様のあらゆるニーズに応えてみました。試行錯誤する中で、2年目に何とか安定した売り上げを確保できるようになりました。シールは後加工のハーフカットも重要な工程です。インク代も高価です。業務改善を図って取り組みたいと考えています。現在、製版とシールのオンデマンド業務の売上比が6対4になるほどに成長してきました。「この事業に取り組みなかつたら今頃大変だったでしょうね」と田中さんは振り返ります。

商品はアイデア次第

商品は多岐にわたります。商品パッケージ・ノベルティグッズ・イベントシール・DM促進シール。大きいものでは選挙ポスター。可変データを利用した自転車の駐車許可シールなど、お客様の要望に小ロットから応えています。「シールの可能性」というより小ロットの『オンデマンドの可能性』に掛けました」と田中さんは話します。

顧客創造の手段としてHPのリニューアルを図りました。オンデマンドのシールのお客様、B to Cの顧客開拓に繋がっています。「併せて凸版製版も掲載したのですが



亜鉛版のほかに樹脂版にも対応。樹脂版にUVを使い、版を硬化させる作業。



亜鉛版の裁断機(左)と校正機(右)。校正機は創業当時から活躍し、同じ機器が博物館に展示されているほどの年代物。



大型インクジェットプリンター

その引き合いもあります。ホームページはいろいろな可能性を秘めていますね。思わぬ副産物となりました」。

印刷は注文を受けてから製作するという下請けの要素が多い業種です。そこで田中さんは自分から売り込んで商品を持ちたいと考えています。一例としてAR(拡張現実)付きのシールを挙げました。読み込むことで、動画再生やHPの再生が簡単にできるようになります。まさにお客様のアイデア次第と言えます。

同友会との関わり

少子化傾向で多種多様の需要はこれから増えていくだろうと読んでいます。「この設備は九州ではウチだけです。まず九州で一番になりたいですね。社員さんに満足してもらいたい、さらにお客様に満足してもらいたいです。九州で、なくてはならない会社になりたいと思います」。

同友会にはお客様の勧めで入会しました。かすや支部の創立とともに移籍しました。若手の社員が増えるにつれて社内でのコミュニケーションをとるための勉強がきっかけだったと言います。さまざまな学びを実践する中で、最近では情報の共有や業務改善など、営業と現場での会議を一緒にやるようにしています。経費や売り上げなどの数字を全員で確認することで会社の状況や進むべき方向を確認しています。

さらに2名の新卒社員を採用しました。「初めはグクシャクすると思いましたが、素直な新人に恵まれベテランが多い職場ですが、明るくなりました」。

また整理整頓にも取り組みました。グループごとにチェックして点数で表し成果を出しました。「以

自主性を持って行動する社員

前は外部の方を工場内に入れることはしなかったのですが、オンデマンドに取り組みだして、この設備を見もらうことでお客様との信頼関係を構築したいと思うようになりました。そのためにはやはり工場内が整理整頓されていないといけませんよね。目的がはっきりすれば手段は明確になります」。

「社員自身が自主的に考えて行動するようになりました。最終的には経営者である私の責任ですが、ある程度社員に任せて自分で考えてもらうようにしています。相談されてすぐに指示してしまうと、上司のせいになりたり考える習慣がなくなりますからね」。

取材の最後に田中さんが考える自立型企業についてお伺いしました。「会社としては、他に頼らない自分たちでやれ・作れる仕事をしている会社。環境に左右されないで自分で売れるものを持っていることですかね。社員としては自分で考えて行動することでしょうか。私としては社員にどこまで我慢できるかでしょうが」と苦笑する田中さんでした。

取材協力ありがとうございます。

新書籍のご案内



頒価 1,500円
編集発行 中小企業家同友会全国協議会

継承と変革 『労使見解』の起草と『人を生かす経営』実践への道

田山謙堂氏 著 (中小企業家同友会全国協議会顧問／(株)千代田エネルギー取締役顧問)

「労使見解」の真髄は、経営責任と自覚と労使の信頼の構築

時代を先取りして「労使見解」を生み出しその精神を経営指針に結実させて自社を変革し、同友会運動を切り拓いてきた中小企業家が自己と運動の反省を語ります。

苦悩する経営者への熱きメッセージ
経営とは生きざま

頒価 600円
編集発行 中小企業家同友会全国協議会

中小企業憲章・条例推進ハンドブック(改訂版)

中小企業憲章が閣議決定してから4年を迎えます。各地域で憲章・条例推進運動が進み、今回この発展段階にふさわしいハンドブックの改訂版が発行されました。

改訂版のポイント

- ①今までの運動の成果を踏まえつつも、新たに運動に加わる方のために、憲章・条例運動の原点をしっかりと伝えていく。
- ②憲章の閣議決定、条例制定の全国的広がり、今までの経験を教訓化し、会の内外で使いやすいハンドブックとする。
- ③同友会三つの目的の総合実践の見地から、どの活動分野からも憲章・条例運動にアプローチできる内容とする。

「障がい者応援BOOK」ができます！



近年、障がい者雇用を取り巻く情勢は、ハローワークでの新規求職申込件数や就職件数が過去最高になるなど、障がい者の「働きたい」という意欲がこれまでにない高まりを見せています。障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざし、就労支援が強化され、今後一般雇用としての障がい者雇用もさらに進むと考えられます。しかし、中小企業一社一社では多くの障がい者を雇用することはできません。

中小企業全体における障がい者雇用の推進のため、バリアフリー委員会は障がい者雇用と実習受入企業が増えるよう、今回「障がい者応援BOOK」としてまとめました。

「障がい者応援BOOK」は3月11日に開催されるバリアフリー委員会3月勉強会で参加者の皆様に配布を予定しております。

その他のお求めの方は、同友会事務局までお問合せ下さい。会員の方は無料、一般の方は100円でお求めいただけます。

バリアフリー委員会3月勉強会のご案内

今回は、昨年10月に横浜で開催された『第17回障害者問題全国交流会』の第2分科会で報告された内容を福岡で再度学習会として開催します。

地域のイベント協賛等より、もっと地域に役立つことはないか？と考えていたとき、障がい者の青年との再会を機に障がい者雇用を始め、社員誰もが笑顔でいきいきと働ける職場づくりに取り組んでいます。県や特別支援学校等とも連携しながら、積極的に取り組んでいる障がい者雇用をひろげる活動の実践事例も含めて報告いただきます。

■ テーマ 40年間の戦力として
～ともに学び、育つ 社風づくり～

■ 報告者 中村こずえ氏
有限会社エス・ケイ・フーズ 取締役[長崎同友会会員]

■ 日 時 3月11日(火) 18:30～21:00

■ 会 場 福岡県中小企業振興センター 202会議室
(福岡市博多区吉塚本町9-15)

■ 参加費 福岡同友会会員 500円、会外 1000円

19 水 18:00~20:30

福博支部
3月例会

後悔しない人生を生きる そのために今、何をしていますか？

- 天神テルラホール 福岡市中央区渡辺通5-25-18 ☎092-732-4441
- 宮崎 栄二氏 株式会社R101 代表取締役 (福博支部)

25歳で起業。順調に発展するも倒産を経験。逆境を乗り越え、平成元年「リフォーム三光サービス」を創業。会社は順調に成長し、常に、ろうあの優れた職人たちと歩んできた。平成24年6月、「障がい者雇用100名以上」を目指し、株式会社R101を設立。「経営者の責任」とは？

20 木 18:30~21:00

糸島支部
自主成長ブロック会(3月例会振替)

会員訪問 (株)重富印刷

- (株)重富印刷 糸島市前原東3-1-8 ☎092-322-0191

20 木 18:30~21:00

青年支部
3月例会

青年支部フォーラム 支部役員を受けて変わった!? 気付いたものとは？

- IPホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
- 三役・ブロック長全員 (青年支部)

同友会活動と経営は不離一体です。役員を引き受けてよかったことや大変だったこと、学んだことを、ブロック長や三役を中心に報告していただきます。会活動の中で多くの会員と交流を深め、共に学び成長することが自社の発展につながります。皆さんに会活動への積極的な参加を促進することを目的とします。

20 木 18:30~21:00

福友支部
3月例会

揺るぎない決断 経営者としてのスイッチ オン

- TKP天神シティセンター 福岡市中央区天神2-14-8 ☎092-720-8003
- 淵上 美保子氏 サインエフェクト株式会社 代表取締役社長 (福友支部)

淵上氏は、自宅を事務所兼工場としてご主人と二人三脚でスタート。広告代理店と契約、初年度から従業員を雇用し順調に業績を伸ばしていましたが、リーマンショックの影響で経営危機に陥ってしまいます。精神的・肉体的にもきつく「何のために仕事をしているのか」を考えるようになります。揺れ動く状況を克服し、ゆく道を示すものが欲しい。経営理念はそんな時に出来あがりました。次に大きな波が訪れたとしたらどのように考えて乗り越えるのか。経営姿勢や考え方についてご報告をいただきます。

20 木 18:30~21:00

りょうちく支部
3月例会

日田支部との合同例会

- 筑後川温泉ふくせんか うきは市羽野町古川1099-8 ☎0943-77-3131
- 松尾 勝彦氏 写真の松屋 代表者 (りょうちく支部)

地域に根ざした写真館の2代目として、地域の仲間と勉強会を立ち上げ学習・交流しながら経営に励んでいます。経営指針セミナー(2泊3日)に参加し、自らの経営を振り返りながら、今後の経営についての夢・希望を報告いただきます。

20 木 18:30~21:00

中央支部
3月例会

同友会からもらった経営の道標 小さな認可外保育所、激変する保育業界で奮闘中

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
- 島 佐代子氏 プティット姪浜ルーム 代表者 (中央支部)

島さんは24時間年中無休保育所を開所して14年。「こんな保育所があったらいいな」から始まったプティット姪浜ルーム。雇われ所長から始まり9年目に事業継承し「オーナー」になりました。しかし経営を知らないままになった「たなばたオーナー」で行き詰まります。そんな時受講した「あすなろ塾」で、自分の抱えている不安が明らかになり、同友会で真剣に学ぼうとすぐに入会します。様々な活動を行うことで経営が本質的に変わったと言います。いかにして経営に活かしてきたか核心に迫ります。

20 木 18:30~21:00

西支部
3月例会

会社が倒産した長い一日、そして待ち受けていたもの

- 福ビル 福岡市中央区天神1-11-17 9F ☎092-716-8021
- 品川 昌弘氏 株式会社GOOD DESEIGN 代表取締役 (西支部)

すべての経営者は、自社の業績をのばし、収益を上げ、雇用を増やし、社会貢献もできるような会社にしていこうと日々、昼夜問わず、考え行動をとっていると思います。しかしながら、景気の影響を受け、外的要因により負のスパイラルに陥って、会社が倒産してしまう「まさか」の可能性をあります。今回、会社の倒産を経験され、再浮上している品川氏に、倒産時のリアルな経験談や、未来にむかって再浮上している様子のお話をさせていただきます。

24 月 18:30~21:00

有明支部
3月例会

税制改正について

- しげちゃん会議室 柳川市三橋町下百町30-2 ☎0944-72-7722
- 園田 嘉生氏 園田税務会計事務所 税理士 (有明支部)

会社を運営していく上で、また、会社の役員として、知っておかなければいけない税制。そこで今回の例会は、消費税をはじめとする税制改正について支部長でもある園田税理士より解り易く説明していただきます。

25 火 18:20~21:00

筑紫支部
3月例会

長期的ビジョンを掲げ同友会で実践してきた10年間常識を打ち破れ！

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 有田 栄公氏 有田電器情報システム株式会社 代表取締役社長 (嘉飯支部)

同友会での学びの実践、自社への落とし込み方について。
～経営指針、国際交流委員会、共同求人活動、労使見解～

25 火 18:30~21:00

女性部委員会
3月勉強会

- GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
- 村山 由香里氏 株式会社アヴァンティ 顧問 (中央支部)

経営体験報告～経営指針書があったから、会社が変わった、承継できた、社員が変わった～(仮)

25 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST3月例会

FAST in 九経交流プラザ 第3弾 産業競争力強化法のご紹介

- 九経交流プラザ 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡第一合同庁舎1階
- 山田 真治氏 九州経済産業局 産業部 産業課長
- 中牟田 晃氏 九州経済産業局 地域経済部 企業支援課長

今回は、「産業競争力強化法」の概要及び関連施策についてご紹介いただきます。企業の設備投資や従業員の所得拡大を促進する減税、新商品開発の際に様々な規制がある場合に活用できる「グレーゾーン解消制度」「企業実証特例制度」などが新たに加わり、小規模事業者の皆様が活用しやすい施策もあります。

25 火 18:30~21:00

久留米支部
3月例会

適材適所で能力発揮を(仮)

- 萃香園ホテル 久留米市樹原町87 ☎0942-35-5351
- 隈 啓介氏 充寛労務管理事務所 社会保険労務士 (久留米支部)

人事は、適材を適所に配置する。これを、実践するために、参考となる助言をいただきます。

4/5 土 14:00~17:00

同友すばる委員会
同友すばる事業承継塾第5講

今あなたの身に何か起きたら、あなたの会社は？

- 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
- 林田 達氏 株式会社 彩ーいとりー 代表取締役会長 (東支部)
- 林田 選氏 株式会社 彩ーいとりー 代表取締役社長 (東支部)

今年度最終講は「体験報告」です。中小企業の事業承継で最も多い「親から子」への承継。その中での葛藤や苦難、そして夢を語っていただきます。

3月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

11 火 16:00~18:00

ソーシャルビジネス委員会
3月オープン例会

小倉の商店街で始まった最先端のまちづくりスクールと、その成果から見えるまちと仕事と暮らしの未来

■ 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530
■ 徳田 光弘氏 九州工業大学 准教授

まちに増え続けている低利用・未利用の不動産は地域固有の宝物。地域のストックを活かしたまちづくりの手法を学び、実践し、同士と出会う場『リノベーションスクール』のヴィジョンや仕組み、また、成果から見えるこれからの仕事と暮らしのあり方の報告です。

■ 参加費：1,000円

13 木 19:00~21:00

青年部連絡会
3月例会

青年経営者は何を学ぶべきか

■ En WEDDING 福岡市博多区中洲3-7-24 gate'sビル11F ☎092-283-0611
■ 日高 美治氏 キューハイテック株式会社 代表取締役(博多支部)

「これからどうしていけばいいのか。」「そのために、いま何を学ぶべきなのか。いま何をしておく必要があるのか。」等々、我々青年経営者の悩みは尽きません。今回は、青年経営者の一番の悩みどころであり最大の関心事でもある「いま何を学ぶべきなのか?」について、日高さんよりご自身の経験談も踏まえてご報告をいただきます。その後の交流会では、青年経営者としてどうしていくか、夢を大いに語り合い、その夢を実現するために青年部連絡会でやりたいことを議論したいと思います。

15 土 14:00~17:00

第109回 新会員
フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

17 月 18:30~21:00

北九州支部・ひびき支部
合同3月例会

我が社は人を生かすためだけにある!! (仮)

■ コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■ 伊集院 雅人氏 明石加工サービス株式会社 代表取締役(兵庫同友会)

25歳で突然社長になり、自分流の経営で社員と上手くいかず取引先の子会社と合併などもあり、最悪の経営状況でした。ちょうどそのころ兵庫同友会に入会、経営指針成文化セミナーに参加し労使見解を学び、セミナー受講中に教育研修と現場改善を新規事業(第二創業)としてやる

と決めます。
同友会で学ぶ中で、人が成長する場にかかわることが自分の一番の喜びだと改めて認識、「働く人のやりがいや働きがいをつくっていくために社長をやっているんだ」という考えにたどりつきます。人材育成・組織作りの鍵を学びましょう!!

18 火 18:30~21:00

筑豊支部・嘉飯支部
合同3月例会

いつまで続く業種転換 漂流する経営

■ ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
■ 大森 孝人氏 株式会社東洋プレジジョン 代表取締役社長(筑豊支部)

自らが鍛造メーカーの後継者でいた大森社長。「鉄は止めよう」とたびたび親父と話をしている折、ある縁をきっかけに現在の基礎となる事業を鉄工所の社員さんを起用せずに立ち上げます。そこから漂流する経営がスタート。黒字会社である大森鉄工所を閉業、新規事業では一括受注を目指すもいつからか専門特化へと移行して行きます。流れに流されて、経営を行って来たと言われる本心はいかに! また、今年還暦を迎えられるにあたって、社内にいる子息に事業承継して行く立場にあるとの事ですが…。今回は大森社長ならではのユーモアと辛口トークで、経営と事業承継について語っていただきます。

18 火 18:30~21:00

博多支部
3月例会

「職人から経営者へ」 同友会での学びを実践して

■ 天神ビル9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
■ 井上 真一氏 株式会社大匠建設 代表取締役(博多支部)

社員とどう向き合っていくかは、経営者の大きな課題です。会社の中のルールを作るとともに、社員をパートナーととらえ、一丸となって会社運営をするためにどのように社員と向き合えばいいか、そして、何を実行するべきでしょうか。職人の地位向上を目指し、職人集団の会社を設立した大匠建設の井上社長。同友会と出会い、経営指針書を取り入れ社員とのコミュニケーションも良くなり、今では那珂川地区で1番になるという共通の目標を持ち、一丸となって会社を前進させています。

18 火 18:30~21:00

玄海支部
3月例会

働きやすい環境条件作り「中小企業者にとってのTPP」

■ 都久志会館会議室 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■ 施 光恒氏 九州大学大学院 准教授

農業ばかりが注目されるTPPだが、実は、その影響はあらゆる業界にかかわるとされています。今回、中小企業者もTPPの内容をよく知り、来たるべき変化への対応を考える機会とします。今回、そもそもTPPとは何かという基本から始めて、中小企業者にも考えておかねばならない事柄を学びます。

18 火 18:30~21:00

かすや支部
3月例会

同友会を知る会 体験報告

■ サンレイクかすや 糟屋郡粕屋町駕与丁1-6-1 ☎092-931-3309
■ 古澤 正也氏 有限会社寿モータース 代表取締役(かすや支部)

■ 尾尾 哲史氏 株式会社シルエット 代表取締役(かすや支部)

会員歴丸1年のお二人は、昨年の8月に「2泊3日経営指針作成セミナー」に参加。同友会に入会後、会社がどう変わったのか、今後のビジョンは。

19 水 18:30~21:00

南支部
3月例会

ふくろうにこめた想い めぐり逢いと笑顔の創業体験記

■ 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

■ 福添 建一氏 ふくろう不動産販売株式会社 代表取締役(南支部)

大学卒業後に福岡地場のマンションデベロッパーに入社以来、約15年の間一貫して新築マンションの販売に携わり、平成23年にふくろう不動産販売株式会社を創業された福添氏。人とのめぐり逢いを大切にすることになり壁にぶつかる日々、そのような中でも「住まいを通してお客様を幸せにしたい」という想いを形にするべく新たな事業をスタートさせるなど、今まさに創業期で奮闘している過程をお話しいたします。

19 水 19:00~21:00

大牟田支部
3月例会

浸透する経営理念

■ だいふく 大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333

■ 松原 照明氏 シーエススチール株式会社 代表取締役(かすや支部)

70%以上が赤字企業の現状を勝ち抜くには会社の思い、理念を共有し、いかに社員さんと一丸となるかが重要です。ともに学びともに育つ企業になるための浸透する経営理念について学びます。

19 水 18:30~21:00

東支部
3月例会

「人を生かす仕組みづくり経営」

あなたの会社は人を生かした人間力経営やっていますか?

■ ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900

■ 三原 稔之氏 株式会社ピーエムティー 後継者(かすや支部)

自社商品紹介

株式会社 ピーエムティー

後継者 三原 稔之 氏 (かすや支部)

オープンイノベーションで世界へ (人と結び、技術を磨き、ビジネスを創る企動力)



当社は、こんな作りたいな、この技術面白いな!という興味のあつるものを、ネットワークで人を結び商品化してきました。当社の要諦はないもの(技術、人材)は見つけない、取りに行くです。

当社では、もともとインクジェット装置を作っており、電子部品方面から違う方向への必要性を感じていました。その時、食品向けプリンターのお話をいただき、共同でモノづくりが行われた商品を今回ご紹介します。

Edibleプリンター

食べ物にプリント?!

今まで食品へのプリントは、焼印や天然色素の粉を静電技術でふりかけデザインをしていました。最近では卓上のパッチ式(一定時間、一定量をまとめて処理する方式)食品



Edibleプリンター データを送るだけで印刷。

向けのプリンターも出てきており、需要が伸びてきています。しかし量産品を作る工場ではパッチ式では間に合わず、量産に対応するようなプリンターが必要でした。そんな折、(株)ニューマインド社が希少価値の高い可食のインクを持っており、連携のお話をいただきました。当社が装置OEMや販売もさせてもらうことで、連携して開発が進んでいきました。昨年夏に待望の世界初の量産型Edibleプリンターが完成しました。コンベアを通して間の1秒程でカラープリントを行う、高速型のプリンターです。

クッキー等にプリントすることで、お客様に「可愛いね!素敵ね!」と楽しく食していただける



毎分20mの速度で印刷が行えます。

よう楽しく仕事を
行っております。
今は、クッキー、煎餅、マシマロ、カステラ、どら焼き等へのプリントがほとんどですが、チョコレートや蒸し物等へのプリントもできるような技術を高めていきたいと思っています。

中小企業ではすべてのことを自社でやることはとても厳しいことです。連携をどのように行っていくか、当社ではその根底にあるものは信頼です。人間力を高め、信頼を頂戴できるように会社全体でがんばっております。



食べられるインクで
キャラクター・ロゴ・写真など

食品へ自由に
印刷・表現が可能!

株式会社 ピーエムティー

〒811-2115 糟屋郡須恵町佐谷1705-1

TEL 092-933-3110

FAX 092-933-3115

<http://www.pm-t.com>

2013年度 第9回理事会報告

■ 日時：2014年1月25日(土) 15:30～17:30
■ 出席：43名(欠席11名) 出席率79.6%

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 202会議室
■ 議長：森副代表理事

承認・確認されたこと

- 1 2013年度活動総括、2014年度運動方針骨子、活動計画の考え方、予算の考え方について確認
- 2 法人化に関する提案資料については事前配布をし、地区・支部で説明をし理解を求める
- 3 総会成立要件の確認
- 4 年度末2100名を目指して、仲間づくりを推進することを確認
- 5 同友名鑑の代わりにe.doyuのユーザ名簿を利用することを確認
- 6 1名の除籍を承認
- 7 2014年度あすなろ塾の日程の確認
- 8 正副代表理事会議のメンバーに総務財政室長と役員研修室長を追加することを確認
- 9 第52回定期総会にて基調講演を行うことを確認

要請事項

- 1 共同求人委員会：2014年度参加企業募集
- 2 共育委員会：映画上映会と共育講演会への参加要請

- 3 役員研修室：第21期役員研修大学の参加要請
- 4 女性部委員会：2月勉強会参加要請
- 5 バリアフリー委員会：3月勉強会参加促進要請
- 6 ビジョン委員会：2月勉強会・3月討論会への参加要請

報告事項

- 1 3件の名義後援
 - ・福岡女子大90周年記念講演会
 - ・福岡県中小企業振興センター「中小企業経営革新セミナー」
 - ・「自閉の画家太田宏介～22年の軌跡～」展覧会
- 2 対外的な要請事項
- 3 中小企業施策情報
- 4 会員企業の動き、トピックス
 - ・第4回「キャリア教育アワード」受賞 地域企業協働の部(株)Campanula

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2013年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。



福岡県中小企業家同友会 第52回 定期総会のご案内

消費税増税による様々な経営判断が迫られてくる中、同友会では地域そのものを元気にし、地域経済の発展を願って運動をすすめています。4月に開催します定期総会は、1年の活動をまとめ、次年度の活動方針を検討し確認する場です。多くの会員の皆さんに出席いただき、大いに語り合い・交流することで元気を分かちあいましょう。基調報告として、株式会社宮崎本店 代表取締役の宮崎由至氏(中同協副会長、三重同友会相談役)に報告をお願いしています。多くの会員の皆様のご出席をお願い致します。

「全社一丸」の強じんな企業づくり
～労使見解の学びを深め、人を生かす経営の実践を!～

福岡県中小企業家同友会
代表理事 中山 英敬
代表理事 田浦 通
代表理事 樋口 康治

基 調 講 演



「なぜ人を生かす経営なのか」～情勢を見極め、企業変革と戦略を～

講 師 株式会社宮崎本店 代表取締役 宮崎 由至 氏

[三重県中小企業家同友会相談役／中小企業家同友会全国協議会副会長・人を生かす経営推進協議会代表]

日時 2014年4月25日(金) 14:30開会 (14:00受付)

会場 のがみプレジデントホテル (飯塚市新立岩12-37市役所横 TEL0948-22-3840)



取締役部長 本田 優子

本田産業 株式会社

〒836-0083

福岡県大牟田市市長町32番地の1

TEL:0944-57-4100

FAX:0944-52-4805

You jido-sha

代表取締役
久保田 洋
くぼた 洋



九州陸運局認証工場 第1-5050号

- 有限会社 ユー自動車
- 携帯 090-9722-3729
- 〒837-0912 福岡県大牟田市白銀296
- TEL 0944-58-7653 FAX 0944-58-7970



有限会社

ドン・ド・ミー

代表取締役

金森 信吾

〒836-0805

福岡県大牟田市通町1-5-8

TEL 0944-55-5300

FAX 0944-55-5305

<http://www.dongurinoki.jp/>



株式会社 坂口建設産業

代表取締役 坂口 吉義



福岡県大牟田市橘921-4

TEL:0944-41-7011

FAX:0944-41-7013



アパート マンション
土地・家 管理

代表取締役社長
今村 成剛



使用済み自動車・廃棄車輛
資源循環型社会をめざして!

株式会社 平尾自動車商会

HJS リサイクルセンター



〒836-0011

大牟田市健老町450-2(エコタウン内)

TEL:0944-43-6882 FAX:0944-43-6887

産業廃棄物収集運搬業・特別産業廃棄物収集運搬業・自動車解体業許可

～ いつも いちばん いいものを ～

菓舗・レストラン だいふく

営業時間 本店 8時～20時 レストラン 9時～21時

本店・レストラン 大牟田市有明町2丁目1番地3

JR大牟田駅より徒歩3分 TEL 0944-53-3333

九州銘菓

草本 饅頭

郷風蒸菓 黒田家

本社/福岡県大牟田市大字草本177 ☎(0944)52-5707
草木本店 ☎(0944)51-5555 新栄町店 ☎(0944)54-7728 駅前店 ☎(0944)56-9373
福岡市内での販売所 福岡空港第2ターミナル全日空商事 福岡三越 地下2階・菓遊庵



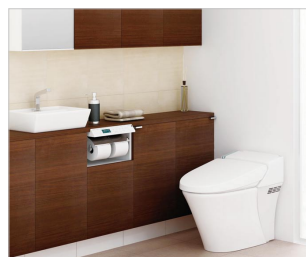
水と空気を考える
濱田設備

代表 濱田 満広

〒832-0827 柳川市三橋町蒲船津515-11

TEL 0944-74-1871

FAX 0944-74-1871



CAN CAN GROUP
株式会社 カンカングループ

取締役副社長 富山 博史
HIROFUMI TOMIYAMA



〒836-0046 大牟田市本町1-5-17 第3カンカンビル2F
TEL (0944) 57-6556 FAX (0944) 57-6555

- ナイトカフェ フレンチカンカン
大牟田市大正町1-9-4
(第2カンカンビル6F)
TEL (0944) 51-9500
- CAN CAN CLUB mirai
大牟田市大正町1-9-4
(第2カンカンビル5F)
TEL (0944) 55-1105

福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F

TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。